

# 京城日報

刊日九十二  
(五八七世刊日)

## 講和締結提議

駐露大使團に對し

## 休戰提議と獨逸

結局單獨講和の外ならんか

## 莫斯科飢饉に瀕す

莫斯科に對し

## 將軍行衛不明

國民委員會に對し

## 平和解決の曙光

南北妥協、聯立内閣組織が

## 段氏林公使訪問

駐露大使團に對し

## 馮總統停戰通電

七日午後、馮總統は

## 東京より

支那政局回轉如何

## 中央銀行としての鮮銀

朝鮮銀行に對する今後の方針

## 威興瞥見記

早川 雪溪

## 來年度豫算概要

新經費の大部分は國防費

## 冬期漁業試験

府内改道着手期

## 貨物列車増發

中村中佐通過、關東鐵道

## 立花中將出張

第十九師團長立花中將は

## 石塚總裁入院

石塚總裁は、昨、午後

## 露西亞

何故混亂

## 露西亞

何故混亂

## 露西亞

何故混亂

## 露西亞

何故混亂

## 露西亞

何故混亂

## 露西亞

何故混亂

## 露西亞

何故混亂

## 露西亞

何故混亂

## 露西亞

何故混亂

## 露西亞

何故混亂

十一月一日現行











か親しをして、巫山殿で居ります。す。△何うだい大層能く出来た  
と、其の猫の王様たる、鼻猫、左も心地。△ウム剛氣なものだ、ダダ少  
よげにコックリ／＼居睡をして居。何うも低いな。△然うだつてこ  
る、其の周圍を取巻いた子猫が頻。よ、もう少し高ねと齧ねん所  
りに巫山殿で居る、其の鼻猫が居。が、少し猫が低い、然し云ふ所  
睡りをして居る、工合を鼻猫が見。ね、大層な門だ、能く出来た  
もこと、悉く感心をした、成程何うと決して悪く云ふ人は、無く出来た  
もこいつは奇態だ、ヘー不思議だ、能く出来た大したもののだと  
なことがあつたもののだと大層喜ん。めすが、低い／＼と云ふことは  
で立脚つて参ました是が名人にな。誰の口にも云ふ、それが何うも  
る人は物に清々としてゐるのがござい。になつて堪らない、何ういふも  
ません、此の鼻猫が居睡りをして。かも考へて居る處へ、其へ二棟  
居る處をスツカリ見て置きました。今日日は」と入つて参りましたは  
から、後には日光へ限り猫と云ふの。五郎、政、オー甚五郎さん歸つて  
を甚五郎が居りますして、今では照。たのか、其「昨夜遅く歸つて参り  
然も發して居ります、それは此の時。ひきましたから、今朝上つた時  
に甚五郎が氣合をスツカリと見て。ひきましたから、今朝上つた時  
取つたのだと云ふことでございます。△然うか何にしろまア御苦勞  
す、借登朝になつて腰右衛門に暗。あつた、湯煙臭れた手紙の様子  
を告げ甚五郎は飛脚頭兎木柳田。は阿父さんも亡くなつたさうで

廿四  
一圓

力チアスタゼを主藥

東京市目黒区之町四丁目  
電話本局特長一六二六番全一六二七番  
振替貯金口座東京一五〇八八番

縮金も又、多年苦心の結果  
且つ完全なるもので、素人



熟した椿の實の皮膜を去り、冷壓法を以て搾取したる毛髪の衛生に適し、色艶を麗しくする、純良なる椿油

**ミツワ椿油**

大樽	中樽	小樽
五元	五元	五元
五元	五元	五元

ミツワ椿油は製造法を改良し、新鮮の椿の實を精選して特に内地に取寄せ、外皮を悉く除去し、冷壓法で少しも熱を加へずに搾取したる故に無臭、臭氣を脱する遊離酸や不純物を全く除去し居ない、純良なる椿油である。

みつわつばきあぶら

髪澤で、經濟で、而して最も優良な

**ミツワ香水**

大樽	中樽	小樽
五元	五元	五元
五元	五元	五元

ミツワ香水は優雅な香で、長い時間香を保つて居ります。浴は人によりまして、嗜好を異にして居りますから、先づ三百番香を、六種の香を要にするものを發賣いたしました。更に追々種類を増やさんと云ふ計畫であります。

ミツワ香水は折角高價を拂つて求めても、その香が嗜好に合はない場合が多い。三百番香水は一種毎に小瓶の見本を添へてありますから、嗜好に合ふのを召しになる便利があります。

ミツワ香水は客器の體裁を飾る爲に、餘計に高價なものになる弊がありますが、三百番香水は正味のみを目的として居りますから、自然價格も無類の低廉なものになつて居ります。

**ミツワ水枕**

子供に熱の出た時などは水枕が最も必要、飲べからざるものであります。學生が勉強して疲れた時などは水枕をすれば、忍みに元氣を恢復します。

大形	中形	小形
五元	五元	五元
五元	五元	五元

は枕の内に創設を設け、中へ氷水を入れると自然に四方形になるやうに製してあります。左右に揺れなりチャブチャブしたりすることなく、其れに兩端が流く中央が凹んで居ますから頭を冷す力は最も完全であります。

綿金も又、多年昔の結果漸く案出したる、極めて簡便にして且つ完全なるもので、素人にも御婦人にも容易く使用する事の出来る誠に理想のものであります。



**△結果が豫期程に**見好で、中に既探員の委を認めて、「おい、おれは目撃者だ。この男が四人あつた。老人は目撃者だ。この男が四人あつた。老人は目撃者だ。」と証言してゐる。

はばならぬ。所を關係をもつてあらはし、戦役の進捗を看す事も、今

電報せしむることを出するに  
大統領の意を以てするもの  
に違ふ所なきを思ふべきなり

三  
布施生譯

居るんだ。警察に居るんで  
あ、手錠を嵌てやつと引張つて  
に急ぐよ。」「よし、さう一巻

鮮満の縮圖たるが上に  
入し錦上吏に花を添ゆ

本誌は十二萬部の印刷  
有効なる事は本社を保

喝采の中に不<sub>レ</sub>完結を告ぐべし  
主<sub>レ</sub>張<sub>レ</sub>蘭<sub>レ</sub>き同じ譯者の筆に成  
るもの然るを思はせんとす

一、隱心

居るんだ。警察に居るんで、  
手錠を飲てやつと引張つて

永々家藏を辱うしたる誰にハ

も、になつて、どうのどうのつて、い  
や大急な話ですよ、私に頼むに依  
る片の傑作を掲載せんぞ。

見ないので、あの窓ですよ  
そあの三階正面の窓さ、あの窓  
布施生譯

のどたんです。しかも裸で、家の不意に失蹤せるあり。殺るれし

うに屏風の尻に手をかけてはなだ  
なと大屋根の上へ駆上つたんです  
ちに出されたるに相違なく  
を思ふに紛失せる物な

す、いや途方もない亂暴な話で  
老人がそれを聞樂に眠るやうに  
有面の世なること驚くべし、

萬事 赤込んだので誤子に準つて辭して  
ゐた其男は呆氣に取られて櫻々顔  
云ふ、此小間使如何なる身分に

を有「はてな、藏部ぢや無いかな」云  
典老人は考へた「流石の悪黨も天  
るが、巴里の中心に起れる不

しき事請合なり、幸に露

# 品 質 第 一 等

日本酒造會社代表

國 際 三 重 縣 鍾 ヶ 江  
總 店 元

合 名 會 社 清 力 商 店

京 城 本 町 三 丁 目

清 力 京 城 支 店

電 話 六 七 九 番  
私 營 京 城 一 五 九 六

山 港 南 濱 町

清 力 釜 山 支 店

電 話 九 五 〇 番

平 壤 大 和 町

清 力 平 壤 支 店

電 話 一 〇 四 番

褒 仁

九州大漢酒御幸行の  
際 長くも御用酒と  
して無上の光榮を蒙  
ふしたるに

今 回

大藏省醸造試験所内  
開催の醸造協會第六  
回全國酒類醬油品評  
會に於て出品

清酒三千餘中の群を抜き

品質最優良に依り

優等賞名譽金牌受領

此酒は、各地方の酒類品評會に於て、常に優等賞を受領し、品質最優良に依り、優等賞名譽金牌を受領したるに、



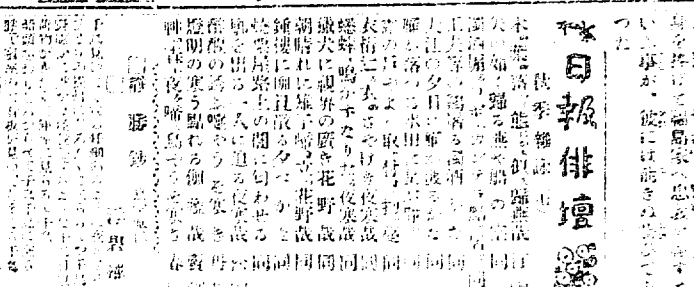
に沮まれ其の實現を見能はざる人は既に家族を伴ひ居るを以てを以て担銅の搬出鐵山用諸費明年に入らば五十萬斤以上を製城津を距る約三十里の山中一小の取引に於て利便を感じ又大倉





明しく云ふ

近頃は御殿に馴れてゐる。いでは思はれ、それに正之の氣遣い、あり、奥方の資量もあり、に出世して、正則の調へ近うになつたら、その時は、金の短刀を抜き放つて、正則の首を一刺しに刺さうとの覺悟もある。

[illegible]

「一應」ともに秘密はない。わしの心はわしの心。お身の心はわしのお身。同じ心。同じ道。忠義を離れず。同じにも。合ひにも。力を合ふ。合ふ。見解の違ひはそこにある。其即ちなるまいの。」

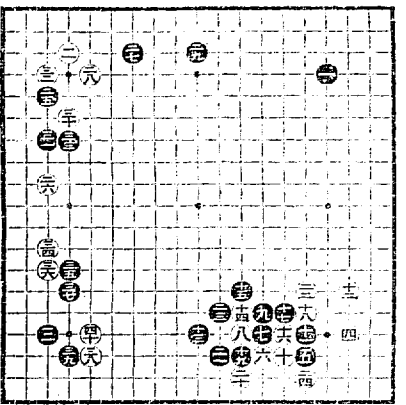
新刊紹介

牛乳 廣野牧場 京都東四軒町 廣野牧場 電話 〇六九

[illegible]

壽平 山莊：先 氏平道節高

建仁四十六年(西暦一一七六年) 興

[illegible][illegible][illegible]

風

皮膚衛生に心懸け、良い石鹼を製造せられたならば、敢て表面をつくも御心配もなく皮膚は生理的に丈夫になり血色はつや／＼して面々々の細かな理想の容貌になる。これに必要を洗身料は十一年目の如くいふも違ふ。

**ウツマキ石鹼**

ていぞ  
るます

五郎

[illegible]

# 大正七年 國 民 日 記

發行以來頗好評並文藝到此際至急御用命

朝鮮發賣元  
旅替系三〇

京城日報社代理部

大阪屋號 嚴松堂  
日韓書房 ウツボヤ書店  
各地京城日報支局各書店

取次販賣店

新荷著

京城水樂町一丁目高品樓前(新荷西門)

酒井婦人病院

入院隨意

寫真  
寫真出張部  
寫真製版

大阪商船出

[illegible]

肥田乳  
 牛乳  
 二ウソ  
 洗物  
 太正煉乳  
 目丁四町菜蓬城京  
 場牧亞東

電話 二五五二番

**質**

迎歡口大

**田村質庄**

電話 三九一六番

三丁目長良橋

本居京坂本町二丁目電話 九七三二番

**インダグレ**

洋酒 各種 輸入

電話 二五五二番

**藥房**

各種 藥品 出售

[illegible][illegible]

は同形の用紙二枚毎に紙上の雅贗  
又は匿名の札を狂所氏名明記の